トーホクのピーマン栽培方法

発芽適温：25～30℃　生育適温：20～30℃
土壌酸度：pH6.0～6.5　連作障害；3～4 年あける

1. 作物特性

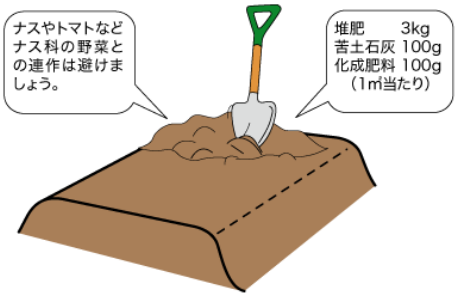
ピーマンは暑さに強い高温性の作物ですから暖かくなってからタネをまき、霜の心配がなくなった頃に植えつけます。果実を連続して収穫するためには肥料切れを起こさないように追肥と水やりを欠かさないことがポイントです。

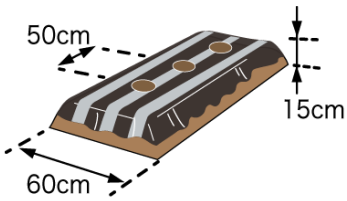
2. タネまき

直径 10～12cm のポットに約 5mm の深さにタネを数粒まき、本葉 2 枚の頃までに生育の良いものを残して間引き 1 本にします。充分に日光に当てて、葉が厚く節間の短いがっちりした苗に育てることが大切です。

3.植えつけ

ピーマンは連作を嫌い、同じナス科のトマトやナスやジャガイモなどとの連作も避け、3～4 年間隔をあけます。雑草防除と土壌水分保持のためにマルチを張っておきます。



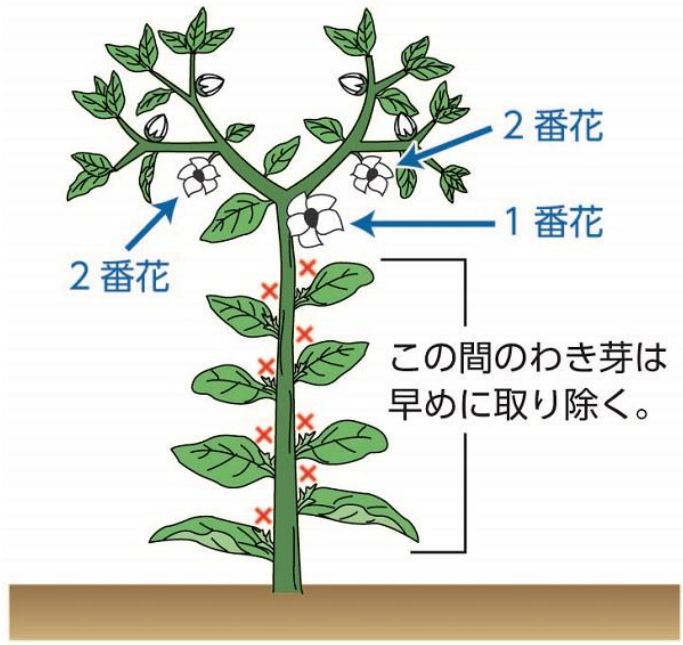


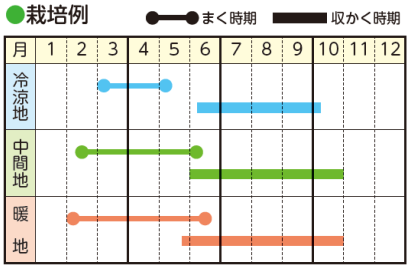
1 番花が咲いた頃が植えつけの適期です。地温が低いと生育が悪く花が落ちてしまいます。植えつけの数日前にはマルチを張って地温を上げておくことがポイントです。

株間は 50cm 以上とります。植えつけた後はしっかりと水をやり、倒れないように仮の支柱を立てて誘引します。ピーマンは枝が弱く、風で折れたり倒れたりしやすいので、必ず支柱にしっかり固定します。

4.栽培管理・収穫

1 番花のすぐ下のわき芽が強い性質があるので、わき芽 2 本を残して他は早めに摘み取り、その 2 本を伸ばします。



支柱を立てそこからひもを垂らして、伸ばした側枝を上から吊るすように固定するのも良いでしょう。植え付けの 2 週間後から約 2 週間おきに化成肥料 40g を株元に追肥します。

1 番花の果実は株を疲れさせないために小さいうちに収穫します。その後は適当な大きさになれば順次収穫します。ピーマンの枝は折れやすいので、収穫は必ずハサミを使いましょう。